



学校だより

横浜市立南台小学校

6月号 令和2年(2020)年6月1日

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamidai/> TEL 842-1478~9

スマイル&チャレンジ!みんなつながる南台

“ソーシャルディスタンス”と心の距離

校長 角井 治朗

緊急事態宣言が解除され、本日より学校を再開しました。最初の2週間は分散登校、その後もしばらくは午前授業での再開となり、気を抜くことはできませんが、まずは学校に子どもたちの姿が戻ってきたことに安堵と喜びを感じています。多くの子どもたち、保護者の皆様も学校再開を心待ちにされていたことと思いますが、久しぶりに子どもたちを迎える本校の職員の姿も生き生きとしており、改めて私たちは子どもたちから元気をもらいながら過ごしているを感じずにはいられません。一方、長く続いた休校とそれに伴う生活の変化は、どの子にも不安とストレスをもたらしているに違いありません。学校再開を喜ぶばかりではなく、様々な不安を感じている子どももいることでしょう。まずは感染症対策、心のケア、休校中の学習のフォロー等にいてねいに取り組みながら、子どもたちが安心して学校生活を再開し、生活リズムを取り戻すことができるように進めていきます。保護者の皆様におかれましては、引き続きお子さんの健康観察や学習・生活の準備等にご協力をいただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、5月中旬、報道等で緊急事態宣言解除の是非が話題になる中、今年の夏の甲子園中止のニュースが流れました。甲子園での活躍を目標に努力してきた高校球児や関係する方々の思いを想像すると本当に心が痛みますが、高校野球に限らず、突然、目標を失い、苦しい思いをしている方々はたくさんいることでしょう。高校野球に関して地方大会等で集大成の場をつくれないう動きもあるようですが、知恵と工夫を出し合い、少しでも子どもたちの思いを受け止めることができたらずと考えずにはいられません。

そして、学校においても、まだしばらくはいろいろと制約を受けた生活が続きますし、学校における新たな生活様式を模索していかなければなりません。日々の授業や行事等について様々な変更を迫られるケースもあるかと思えます。すでに延期や中止になった行事もありますし、実施することができたとしても例年通りといかないことも出てくるのが予想されます。「できないこと」はありますが、そればかりを考えるのではなく「何ができるか」「どうしたらできるか」をみんなで考える、そんな姿勢を大切にしていきたいと思えます。

感染症対策の観点から「3つの密」を避ける行動様式が求められています。人と人の物理的な距離、いわゆる「ソーシャルディスタンス」をとることは必要ですが、一人一人の思いを大切にしたり、思いやりする「心の距離」は近づけていけるようにしていかなければいけません。そして、将来、子どもたちが共に大きな困難を乗り越えたこと、それを通して学んだこと、身に付けたことが、これから生きる力と自信にできるようにしたいと考えています。